

京滋・大阪 金属加工専門の中小企業

自動車部品 共同受注へ



自動車部品の共同開発に向けて話し合う中小企業の社長ら(京都市下京区・京都高度技術研究所)

参加するのは、自動車のシートベルト金具を製造する坂口製作所(京都市伏見区)や、エンジン部品などを手が

金属加工を専門とする京都や滋賀、大阪の中小企業が連携し、自動車部品の共同受注を目指す組織をこのほど立ち上げた。それぞれの専門的な技術を持ち寄り、試作だけでなく、量産の受注も目指す珍しい取り組み。国内需要が減少する中、新たな部品開発や市場開拓を進める。

技術連携し量産目指す

ける大宮日進(京丹後市)、平安製作所(高島市)など9社。以前から自動車部品の試作などで協力していた5社が核となり、このほど京都市内で開いた初会合で連携を確認した。中小企業の連携を促すため経済産業省が本年度新設した補助金の適用を受けた。

今後、自動車部品メーカーの需要を調査し、低コスト化や軽量化につながる工法、材料を研究する。参加した企業間で工場や設備を見せ合い、勉強会も開いて技術力をさらに高め、メーカーへの提案も積極的に進める。

参加企業は20社程度まで増やす方針。中小企業基盤整備機構や京都高度技術研究所の支援も受ける。自動車部品の共同開発などが軌道に乗れば、航空機や医療機器など他分野への参入も検討する。

平安製作所の荒木邦彦会長は「自動車メーカーによる生産拠点を海外に移転で、国内の製造業は縮小しつつある。これまで競合していた中小企業同士が連携することで技術を高め、新たなビジネスにつなげたい」と話した。

(三村智哉)